

2014年文・法第2問

2 $y = -x^2$ で表される放物線を G とし, $y = -x + 1$ で表される直線を l とする.

G 上の点と l 上の点との距離が最小となるときの

G 上の点の x 座標は $\frac{\text{カ}}{\text{キ}}$ となり,

l 上の点の x 座標は $\frac{\text{ク}}{\text{ケ}}$ となる.

また, そのときの G 上の点と l 上の点との距離は $\frac{\text{コ} \sqrt{\text{サ}}}{\text{シ}}$ となる.